



試料作製 “ワンポイントアドバイス” エポキシ樹脂の特徴 (エポキュア 2 & エポクウィック FC)

	EpoxiCure2	EpoKwickFC
硬化時間 (室温)	6 – 12 hrs	2 hrs
硬化ピーク温度	40℃	121℃
流動性	Good	Best
ショア D 硬度	80	82
収縮率	Better	Best

<特徴>

- エポキュア 2 はあらゆる試料に対応可能です。
- エポクウィック FC は硬化時間が短いので試料数が多い現場に向いています。
流動性が極めて良いのでクラックやポイドに樹脂を浸透させたい試料に最適です。
熱影響の少ない試料にご使用可能です。サンプルカップを併用してください。
銅・真鍮には密着性がよくない場合があります。また大きな試料には適していません。
エポキュア 2 をご使用ください。

*エポキュア 2 ・エポクウィック FC とともに一度に大量に混合することはおやめください。

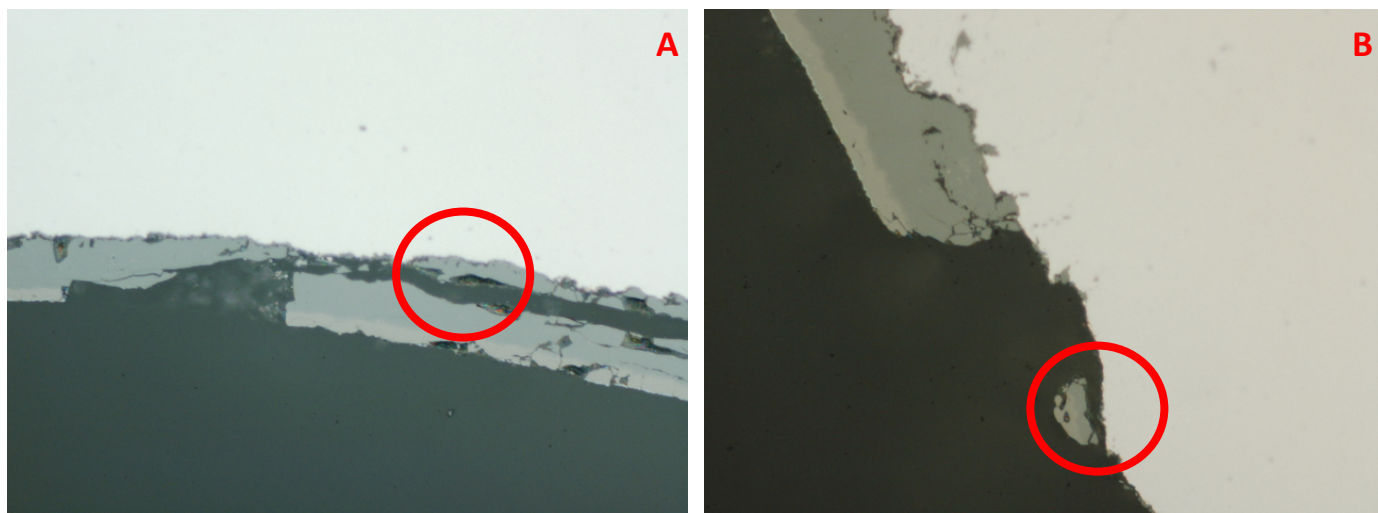


図 A : エポクウィック FC で埋め込みした試料。

図 B : エポキュア 2 で埋め込みした試料。

A・B どちらともしっかりと隙間に樹脂が入っています。

動画はビューラーホームページに掲載しています <https://www.buehler.jp/buehler-videos.php>